





wate

ነ/ው

30周年記念事業を開催して… 1
同窓会設立30周年記念事業 … 2
評議員会報告3
平成22年度事業報告 3
平成22年度会計決算報告 … 4
監査報告 4
平成23年度事業計画 5
平成23年度会計予算 5
会員の皆さん、連絡先 … 6 をお知らせ下さい
奨学金を返還している方へ… 6
懇談会開催
次の方々の情報をお寄せ下さい … 6

30周年記念事業を開催して

七友会会長 佐原 和典

東日本大震災により被災された皆様に心から御見舞い申し上げます

7月2日(土)、同窓会設立30周年記念事業として、「討論会」と「震災からの復興祈念交流会」を開催することができました。参加いただいた皆さんには心か 復興祈念交流会」を開催することができました。参加いただいた皆さんには心から感謝申し上げます。3月11日以降、記念事業の実施については様々な意見が寄せられました。「落ち着くまで延期しては…」「いや、中止すべきだ。こんなことをしている時ではない…」と。私も遠く離れた九州・福岡の地て、地震や津波の映像に接し、なかなか進まない救援・救助の様子に苛立ち、原発事故の発生には甚だしい不安を感じていました。「7月実施はむずかしいのか…」決定するのは、ぎりぎりまで待つことにしました。それは、「こんな時だからこそ、盛岡に集まろう」という声が徐々に増えてきていたからです。なんでも「自粛」「中止」では、救援・救助活動を支える地域の経済活動もダウンしてしまいます。現に、九州の観光地でさえ、外国人の姿も消えて、あちこちで悲鳴があがっていました。そこで、東北新幹線など交通網がある程度復旧したことを踏まえて、記念事業を「復興祈念」として実施することになりました。そこには、実行委員の中でも問われ続けた「岩手に縁がある者として、何かできないか?復興につながる長い活動を考えよう」という思いがありました。一方、同窓会が連絡先を把握している会員数は約5割、震災の犠牲になった会員の存在を、知人から大 ある者として、何かできないか?復興につなかる長い活動を考えよう」という思いかありました。一方、同窓会が連絡先を把握している会員数は約5割。震災の犠牲になった会員の存在を、知人から大学へ連絡があって初めて知る状態では、安否確認も儘なりません。こうした現状と「同窓会として何か…」「学部は何をしているの?」など様々な思いから、「第一回震災からの復興支援に学部・同窓会は何ができるのか?」という討論会が企画されました。 討論会では、最初に学部・同窓会がら2名ずつ話題提供をしていただきました。学部からは、まず

副学長で環境科学課程の西崎滋教授が「岩手大学における復興支援の取り組み」を紹介しました。特 副学校で環境科学は2000回域が対象が14年大学における場合で表現の成り間が15を16700とのた。特に今後の復興支援プロジェクトとして、岩手大学が「地域復興センター」として三陸沿岸の復興・防災を支援するにあたり、県や市町村、他大学と緊密な連携をとりながら実施すること、災害の復興を担う人材育成を進めることが示され、学部・同窓会は、特に人材育成の面で関われるのではないか… 担う人物育成を進めることがいては、子郎・阿忠云は、特に人物育成の間で関われるのではないがか との提案がありました。人間科学課程の五味壮平准教授からは、自身が関わっているモリオネット(も りおか地域SNS)の活動状況を参考にした意見がありました。学部と同窓会が支援する方法や目的 で一致した「何か」を見出すのは難しく、むしろ大事なのは、長期的な「見守り」の仕組みづくりで か…という提案がありました。同窓会からもと人、佐藤伸樹氏は、行動科学的手法で同窓会の現状を分析し、活動上の問題点を指摘しました。それは、岩手県を中心に東北出身者が多い反面、活動の中心になっているのは岩手を離れた会員であること、年代的には40~50代に片寄っていることです。これでは復興支援活動に自ずと限界が生じてしまうため、早急に会員同士のつながりを強化する必要があるとの意見がありました。吉田真二氏からは、県職員として支援活動に携わった経験と、震災直前までいた大阪事務所での体験を基に話がありました。特に、支援活動には細やかな心遣いが必要で、様々な場面で多くの人々が悪戦苦闘しながら活動を支えていること、大阪で培った同世代、異業種のネットワークが大いに役立ち、「大阪の笑いを生かしてや」という仲間の熱い思いを大事にして活動している。という時には、脚を打たれました。このあた、参加者から様々な視点の音見、現象があり マットソークが大いに役立ち、「大阪の美いを生かしてや」という仲間の熱い思いを大事にして活動している、という話には、胸を打たれました。このあと、参加者から様々な視点の意見、提案があり、活発な意見交換がありました。学部と同窓会が一つのテーマで討論するのは、もちろん初めての試みでもあり、時間的制約のなか、まとまった「何か」にはいたりませんでしたが、第2回、第3回へと続く方向性は見えてきたように思います。今後の展開に期待したいと思っています。こうした「何かしよう…」という思いは、「震炎からの復興祈念交流会」にも現われました。参加者は北海道から鹿児島まで実に130余名にものぼり、実行委員の心配を振り払ってくれました。

一期生が全体の3割ほどを占めましたが、30期生まで幅広く集まり、実行委員の呼びかけに応じて横だけでなく、縦の交流も盛んに行われていました。また、懐かしい先生を囲んでの輪があちこちに広がり、想い出話にも花を咲かせていました。会場では、岩手大学が呼びかけている被災学生支援の募金も行われ、2時間余りで18万円程が集まり、後日、大学に届けられました。それのような大学の第一年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では、1950年では1950年に1950年では1950 記念事業開催には、消極的な意見も少なからずありましたし、参加したくとも参加できない方も多く いたと思います。それでも、多くの会員が参加して今年開催できたのは、この交流会を復興支援のた めの出発点にしたいという思いがあったからだと信じています

7月中旬には、同窓会の岩手銀行支部設立の集まりを開いたという、うれしい知らせもありました。 「祈念交流会」を機に、少しずつ確かな動きが始まったと確信しています。

> 「自分に、自分たちに何ができるだろう…あの日からずっと考えてきました。 きっと多くの人たちが同じようなことを思ったのではないでしょうか。

復興までには長い年月が必要だと思います いつも故郷を胸に、その思いをかたちにしながら 新しく強い町がつくられるまで、ずっと応援していきましょう!」

= 同窓会設立30周年記念事業 ■ 平成23年7月2日(±)のアルバム

記念DVDを製作中です。当日のスナップ、学生歌なども入る予定です。参加者以外で希望する方は、メール 又はFAXで申し込んで下さい。来年3月までには完成させる予定です。

討論会



学部と同窓会が一つのテーマで話し合う初の試みです。30名ほどが参加して、真剣な討論が続きました。

復興祈念交流会



黙祷で会は始まりました



懐かしい先生方の顔もたくさん集まって…

当日の顔ぶれ:太田利彦、黒川國児、日置孝次郎・温子、

(敬称略)

太田利彦、黒川國児、日直孝次郎・温子、 高野真澄、高塚龍之、金田諦元、 細江達郎、深澤秀男、川島淳夫、

袖江達即、深澤秀男、川島淳大、 大嶋一泰、成田 浩、三浦勲夫、

菊地良夫、小林英信、砂山克彦

元 事 務 長:杉村 衛



岩手大学合唱団に「岩手大学学生歌」と「人文社会科学部学生歌」を歌ってもらいました。人文社会科学部学生歌を作曲した金田諦元先生に当時のことを聞くと… 「凝ってつくったので、歌いずらくなったのが難点で…」



被災学生支援の募金も行われました。参加者の善意は 183,000円。御協力ありがとうございました。後日、 大学に届けられました。

友会 設立30周年 震災復興祈念交流:



やはリー期生は多かった!でも、これでもいつもの半分?!10年後は長すぎる…との声が一番多かった!!

評議員会報告

平成23年度の評議員会は、6月11日(土) 岩手県公会堂16号会議室で行われました。議題は1. 平成22年度事業報告及び会計決算報告 2.平成23年度事業計画(案)及び会計予算(案) 3.30周年記念事業の最終確認 4.その他 でした。出席者は19名でしたが、活 発な議論の末、以下のように承認されました。特に「30周年記念事業」については、細かい詰めの話し合いが行われ、できるだけ多くの 会員が参加できるよう、開催日直前までの受付や、岩手日報への広告掲載による会報の届いていない県内会員への呼びかけ等が決められ ました。

■ 平成22年度事業報告

平成22年度は「七友会設立30周年記念事業」の準備を中心に活動しました。実行委員会で検討を重ね、退官した先生方への事前案内、「あ なたの代わりに観てきます」の撮影、「記念講演会」の準備を進めている最中、大震災により一時中断を余儀なくされました。

大学との関係では、大学と同窓会連合の共催による「第3回 岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会」が仙台で開催され、宮城県 内の会員を中心に参加し、活発な意見交換がおこなわれました。

また、2回目となる「ホームカミングデー」は大学祭との同日開催で実施されましたが、思ったほどの参加がなく、来年度は中止とな りました。

会報は9月に第31号、平成23年3月に第32号を発行しましたが、第32号は発送直前に大震災があり、追加の文書を入れるために発送 が遅れました。こうした状況は、逐次ホームページで告知しておりますが、会員の安否確認を進めるためにも、最新の会員情報の収集が 急務になってきたと思われます。

なお、3月12日に「関西支部上設立をめざして大阪で開かれた会合は、わずか4名の参加で、残念ながら支部設立には至りませんでした。

平成22年度のおもな活動は次の通りです。

一祐会(工学部同窓会)定期総会・懇親会 平成22年 5月15日(十) 会長代理として大志田理事が出席 岩手大学同窓会連合 第3回理事会(於 岩手大学本部) 6月11日(金) 議題:平成21年度事業報告(案):決算報告(案) 平成22年度事業計画(案)・会計予算(案)その他 佐原会長、松岡理事が出席 平成22年度評議員会(於 アイーナ809会議室 22名出席) 6月12日(土) 議題:平成21年度事業報告·決算報告·監査報告 平成22年度事業計画(案):会計予算(案) 会則改正 役員改選 他 7月3日(土) 藤原 暹記念「日本学の集い」(於 岩手大学中央食堂2 F 「インシーズン I) 同窓会代表として大志田理事が出席 8月7日(十) 「七友会設立30周年記念事業」実行委員会 (於 仙台市青葉区中央市民センター2号会議室 13名出席) 第3回 岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会・懇親交流会 8月7日(土) (於 ホテルサンルート仙台 10名出席) 9月25日(土) 会報『七友会だより』第31号発行・会員へ順次送付 「七友会設立30周年記念同窓会」の案内を退官した先生方へ送付 10月24日(日) 「七友会設立30周年記念事業」実行委員会 盛岡部会 (於 人文社会科学部 1号館210室 7名出席) 10月24日(日) 岩手大学「ホームカミングデイ」懇親会(於 工学部食堂 6名参加) 11月6日(土) 「七友会設立30周年記念事業」実行委員会 東京部会 (於 東京都港勤労福祉会館 第2会議室 11名出席) 12月4日(十) 「七友会設立30周年記念事業」実行委員会 (於 東京都港勤労福祉会館 和室 14名出席) 正式タイトル: 「七友会設立30周年記念交流会」に決定 人文社会科学部 就職ガイダンス(於 中央学生食堂) 12月21日(火) 大志田理事と同窓生4名が出席 同窓生:宮越領太さん、堀米志保さん、小野寺真菜さん、佐々木友登さん 岩手大学同窓会連合 第4回理事会(於 岩手大学本部) 平成23年 1月27日(木) 議題:在学生への支援(案)について 第4回 卒業生・修了生と学長との懇談会(案)について 他 佐原会長、松岡理事が出席 3月3日(木) 会報『七友会だより』第32号発行・会員へ順次送付 3月5日(土) 行動科学同窓会で「七友会設立30周年記念事業」をPR 実行委員2名(佐藤伸樹·足立慎悟)参加 3月12日(土) 七友会「関西支部ぷらす」設立準備会合(於 大阪駅前 4名) 3月19日(土) 「七友会設立30周年記念事業」実行委員会(震災のため中止) 退官教官へ記念品贈呈 3月 退官:杉浦 直先生 転出:堀毛 一也先生、小林 睦先生

平成22年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

1. 一般会計

<歳 入>

(単位 円)

	科目			予 算 額	決 算 額	比較増減	備考				
前	年	=	度	繰		越	金	362,891	362,891	0	普通預金
会							費	4,600,000	4,680,000	80,000	20,000円×234名/入学·編入学者246名
特	別	会	dž	よ	り	繰	入	2,000,000	2,000,000	0	同窓会設立30周年記念積立より
雑	雑 収 入		3,336	560	△ 2,776	利息					
	≣†					6,966,227	7,043,451	77,224	-		

<歳 出>

科目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備考
1. 事 業 費	5,650,000	3,829,204	1,820,796	
1)会報発行関係	1,500,000	1,194,595	305.405	
ア. 会報等印刷費	800,000	635,355	164,645	会報2回印刷
イ. 会報等郵送費	700,000	559,240	140,760	会報郵送費
2) 会員活動援助費	400,000	199,130	200.870	評議員会宿泊補助、就職懇談会補助
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	0	31期分積立
4) 支 部 援 助 費	500,000	364,070	135,930	関東支部HP維持管理運営費
5) 文 化 事 業 補 助	100,000	0	100,000	
6) 寄 付 金	500,000	500,000	0	人文社会科学部へ奨学寄付金
7) 同窓会連合負担金	500,000	500,000	0	年間会費分
8) 同窓会設立30周年記念事業費	2,000,000	946,209	1,053,791	
9)諸 費	50,000	25,200	24.800	退官教員への記念品、弔電等
2. 会 議 費	600,000	471.056	128,944	
1) 評 議 員 会 会 議 費	500,000	471.056	28.944	評議員会諸経費
2)諸 会 議 費	100,000	0	100,000	理事会諸経費
3. 事 務 費	500,000	496,156	3,844	事務用品、データ管理・HP協賛金、パソコン更新等
4. 特 別 積 立 金	0	0	0	
5. 雑 費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	0	0	0	
7. 同窓会設立30周年記念積立	0	0	0	
8. 予 備 費	116,227		116,227	
dž	6,966,227	4.896.416	2,069,811	

平成22年度収支決算

歳 入 合 計 7.043.451円 歳 出 合 計 4.896.416円 差引残高(翌年度繰越) 2.147.035円 普通預金

2. 特 別 会 計 <歳 入>

(単位 円)

		科					予	算	額	決	算	額	比	較增	9 減	備		考	
1.	前	年	度	繰	越	金	47,0	90,2	259	47,0	090,2	259			0				
2.	新	規	積	 ₹	立	金	1	0,00	000		100,0	000			0				
3.	利					息	1	36,4	127		82,3	378		54,0)49				
			dž				47.3	326,6	86	47.2	272,6	37		54,0)49		 		

<歳 出>

科目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備考
1 般 会 計 へ 繰 出	2,000.000	2,000,000	0	
2. 積 立 金	45,326,686	45,272,637	△ 54,049	年度末積立金額=翌年度繰越額
1)特別積立金	28,582,589	28,549,502	△ 33,087	利息(53,372円)
2) 卒 業 記 念 積 立 金	3,371,823	3,368,132	△ 3,691	利息 (5,142円)
3) 学部設立40周年記念積立	7,397,497	7,388,840	△ 8,657	利息(11,107円)
4) 同窓会設立30周年記念積立	5,974,777	5,966,163	△ 8,614	利息(12,757円)
- -	47,326,686	47,272,637	△ 54,049	

監査報告

平成22年度、岩手大学人文社会科学部同窓会決算書について、本決算会計は適正であることを証明いたします。

平成23年6月11日

監査員 工 藤 康 身 ⑩ 監査員 小桧山 修 ⑩

■ 平成23年度事業計画

今年度は、「七友会設立30周年記念事業」として開催される「震災からの復興祈念交流会」等の成功に向けて全力を傾注していきたいと思います。また、震災により中断している記念映像等の年度内完成を目指し、記念品として配布したいと思います。

さらに、交流会を機に会員のつながりを強化しながら、最新の会員情報の拡充を図り、在校生(準会員)の保護者への会報の送付をおこなうことにより、卒業後の会員情報の確保につなげていきたいと思います。

平成23年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算

1. 一般会計

<歳 入>

(単位 円)

[科		8		予算額	備考
前	年 度	繰	越	金	2,147.035	普通預金のみ
全				費	4,600,000	20,000円×230名
生	別会計	·\$	り繰	入	4,000,000	同窓会設立30周年記念積立より30周年記念事業費として繰入れ
業		収		入	560	利息
		<u></u>			10.747,595	(4,966,227+2,000,000)

<歳 出>

科目	予 算 額	平成22年度予算額	備考
1. 事 業 費	9.003.791	5.650,000	
1)会報発行関係	1,800,000	1,500,000	会報発行(2回予定)
ア.会報等印刷費	900,000	800,000	
イ. 会報等郵送費	900,000	700,000	
2) 会員活動援助費	400,000	400,000	親睦会・交流会等
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	32期分積立
4) 支 部 援 助 費	500,000	500,000	関東支部(ホームページ維持費)、仙台支部 他
5) 文 化 事 業 補 助	100,000	100,000	
6) 寄 付 金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 同窓会連合負担金	500.000	500,000	年間会費分
8) 同窓会設立30周年記念事業費	5.053.791	2,000,000	1,053,791 + 4,000,000
9)諸 費	50,000	50,000	慶弔費
2. 会 議 費	700.000	600,000	
1)評議員会会議費	600,000	500,000	評議員会諸経費
2)諸 会 議 費	100.000	100.000	
3. 事 務 費	600,000	500,000	事務用品、データ管理費、ホームページ協賛金等
4. 特 別 積 立 金	0	0	
5. 雑 費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	0	0	
7. 同窓会設立30周年記念積立	0	0	
8. 予 備 費	343.804	116,227	
Ά	10,747,595	6,966,227	

2. 特 別 会 計

<歳 入>

(単位 円)

科目	予 算 額 平成22年度予算額	備考
1. 前 年 度 末 繰 越 金	45,272,637 47,090,259	
2. 新 規 積 立 金	100,000 100,000	卒業100,000円、特別0円、学40周0円、同30周0円
3. 利 息	82,378 136,427	
dž	45,455,015 47,326,686	

<歳 出>

科目	予 算 額	平成22年度予算額	備	考
1 般 会 計 へ 繰 出	4,000,000	2,000,000		
2. 積 立 金	41,455,015	45,326,686		
1) 特 別 積 立 金	28,602,874	28,582,589	(28,549,502+53,372)	
2) 卒 業 記 念 積 立 金	3,473,274	3,371,823	(3,368,132+100,000+5,142)	
3) 学部設立40周年記念積立	7,399,947	7,397,497	(7,388,840+11,107)	
4) 同窓生設立30周年記念積立	1,978,920	5,974,777	(1,966,163+12,757)	
dž	45,455,015	47,326,686		

<u>会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい</u>

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連 絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、 事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方 が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。 今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報...

ふりかな		期 (S 月卒) 封筒にある整理番号
氏名	(男·女) 專攻	(コース) 研究室 ゼミ等 No
現住所 〒		
(自宅)		
TEL		
FAX		
-E-mail		
家族等連絡先		
>		

日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金を返還している方へ

1. 減額返還・返還期限猶予の受付について ∞ 返還が困難になった場合 ※

奨学金の返還が経済的に困難な場合は、「奨学金返還期限猶予 願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出 してください。

(東日本大震災に被災された方のうち、災害救助法の適用を受け ない近隣の地域であっても、同等に被災された方や勤務先が被 災した方については、返還を減額・猶予できる場合があります。)

返還期限猶予・減額返還の制度・願出方法の詳細については、 日本学生支援機構のホームページをご覧いただくか、奨学金返 還相談センターにご相談ください。

日本学生支援機構 奨学金返還相談センター 電話: 0570-03-7240 (ナビダイヤル)

※PHS、一部携帯電話、IP電話からは03-6743-6100 へおかけください。

※受付時間: 8時30分~20時00分 ※月曜~金曜(土日祝日・年末年始を除く)

2. 緊急・応急採用奨学金の受付について

☞ お子様や親類・知人の方で奨学金が急に必要となった場合 ☞☞

(1) 奨学金の種類:第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)

(2) 対 者:家計が急変した世帯の大学・短大・高専・ 専修学校(専門課程)・大学院に在籍する学 生·生徒。

(東日本大震災に被災された方のうち、災害救助法の適用 を受けない近隣の地域であっても、同等に被災された方や 勤務先が被災した世帯の学生・生徒について、採用できる 場合があります。)

(3) 申込・お問合せ:<u>在学している学校</u>へお願いします。 在学校を通じて推薦を受け付けています(日本学生支援 機構への<u>直接申込はできません</u>)

お願い事項

- ・奨学金返還相談センターにお問合せの際には、お手元に奨学 生番号のわかるものをご用意ください。
- 転職などで住所変更された方は、<u>必ず奨学金返還相談センター</u> [TEL:0570-03-7240 (ナビダイヤル)] へご連絡をお願 いします。

🐃 情報提供を行っています 🐃

独立行政法人 日本学生支援機構(JASSO)(旧·日本育英会) ホームページ(パソコン用) http://www.jasso.go.jp/ モバイルサイト(携帯電話用) http://daigakujc.jp/jasso/



■■「第4回 卒業生・修了生と学長との懇談会」開催!

4回目となる「卒業生・修了生と学長との懇談会」は、6月25日(土) 15時から、札幌市の KKRホテル札幌で開催されました。

岩手大学と同窓会連合の主催となって2回目ですが、札幌市を中心に 全体で120名ほどの卒業生・修了生が参加されました。

学長のあいさつの後、3月11日の大震災における岩手大学の現状や主 な取組みについて紹介があり、各学部からは教育内容や就職状況等につ いて説明がありました。特に震災の復旧、復興への支援については関心 が高く活発な意見交換がありました。引き続き行われた「懇親交流会」 へほとんどの出席者が参加され、地元支部の方が企画した2次会へも、 学長はじめ多くの方が集い、夜遅くまで盛会でした。

来年度は、東京での開催が予定され、6月下旬頃を中心に日程調整が 行われています。

○●○● 次の方々の情報をお寄せ下さい ○●○●

ен (5) жизеты дашын жан жан айын айын айын айын айын айын айын адарын айын айын айында арын айын айын айын айы

次の方々は震災あるいは原発事故のため、会報が配達されず、新た な連絡先も不明になっていまます。安否情報あるいは連絡先等の情報をお持ちの方は、事務局までお知らせ下さい。

〈震 災〉

- ・渡辺 伸也さん(15期卒)宮古市
- 良仁さん(16期卒) 仙台市若林区
- 智美さん(23期卒)釜石市
- ・鈴木有香里さん(25期卒)上閉伊郡大槌町
- ・大上 和彦さん(28期卒)釜石市

〈原発車故〉

- ・湯澤 智幸さん(8期卒)双葉郡浪江町
- ・今村 昌彦さん (8期卒) 双葉郡浪江町 横山 裕美さん (10期卒) 双葉郡富岡町
- 扶美子さん(13期卒)南相馬市 ・渡辺 友美さん(19期卒)南相馬市

= 計 報=

戸期 究さん(平成20年度 環境科学課程 卒業) 3月11日の大震災により亡くなられたとの情報が、同級生の。 方から環境科学課程の河田教授に寄せられました。詳細は不明。

・笛中 文美 (旧姓 樋口) さん (1期生 昭和55年度 行動科学 コース 卒業)

平成23年8月8日死去、山梨県内で教員をしていましたが、 病気療養中のため、楽しみにしていた7月2日の同窓会には、 出席できませんでした。事務局への連絡もあり、一期生からの 要望もあって、告別式等の日程をホームページ(jinsya.com) に掲載しました。同窓会からは、レタックスにて「メッセージ」 を送りました。

※この度の震災に関わる安否確認は思うように進んでいません。情 報をお持ちの方は、事務局あるいは学部の方にお知らせ下さい。 なお、訃報等で至急多くの方に知らせたい時は、ホームページへ 掲載することもできますので、まずは事務局にご相談下さい。

岩手大学人文社会科学部同窓会 < 七友会 >

〔郵便宛先〕020-8550 盛岡市上田 3-18-34 岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛 (事務局) Tel(留守録)& Fax:047-336-3945

E-mail: jimu@jinsya.com ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net

http://www.jinsya.com/〔関東支部〕